

柔道ルネッサンススピーチ内容

2008. 6. 15

こんにちは。

ただいまご紹介いただきました、清水と申します。

私は現役を引退して、なまなか仕事が忙しく、試合を見に来ることはありませんでしたが、今日、久しぶりに皆さんの活躍する姿を拝見して、本当に感動しました。

選手の方々の勝負に掛ける目、何が何でも相手に勝とうとする気迫、何をとっても素晴らしいもので、私も現役時代の自分を思い起こして胸が熱くなりました。

本日、柔道ルネッサンスという貴重なお時間をいただいておりますが、選手の方々にはやる気持ちを抑えて、少しだけ私の話に耳を傾けていただけたらと思います。

私は、現役を辞めた今、仕事が忙しくなかなか柔道に携わることができませんが、柔道を頑張ってきてよかったなあと感じることがたくさんあります。

中でも、柔道をやってきて一番良かったと感じていることは、素晴らしい仲間や先生方と出会えたことです。

私は、柔道を通じてたくさんの素晴らしい出会いを経験しましたが、その中にはライバルとしてともに戦った人もいます。

柔道は、個人競技でありながら相手がいないとできませんし、練習してくれる仲間がいないと強くなれません。

自分と練習してくれる仲間がいるからこそ強くなれるのです。

ですから、周りの仲間達は、自分が強くなる過程でなくてはならない存在であり、自分を支え、成長させてくれる大切な存在なのです。

だからこそ、自分の周りにはいる大切な仲間が悩んでいたたり、傷つき困っている時には、いたわり、そして励まし、みんなで救ってあげてください。

私は、現在、岡山県で警察官として働いています。

警察官という仕事を通じて、私自身、「人を平気で傷つける。」「人を傷つけることに対し、何のためらいもない」など、現在社会の中で人間関係が希薄になったが故に起こる犯罪が多発している現状を見据え、「もっと周りの仲間達で被害者や加害者を救ってあげることとはできなかったのだろうか。」と残念でならないのです。

ですから、皆さんには周りにはいる仲間達や家族を大切にし、労る心を養っていただきたいのです。

私も、柔道とともに頑張った仲間達に多くの勇気をもらい、たくさん助けて貰いました。

その仲間達は私にとって永遠の宝物です。

皆さんも、柔道を通じて知り合った仲間や先生達、そしていつも皆さんを陰で応援している家族や同僚を大切にし、今日、こうして柔道で知り会った一期一会を大切にし、これからも一生懸命に柔道に励んでください。

清水 昭子